

令和5年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和6年3月18日
札幌市立西岡中学校

1 本年度の基本方針

- 1 社会に開かれた教育課程の編成・実施
- 2 多様性を認め合い、個性の伸長と主体的な学びを育む教育の推進
- 3 たくましく生きる力を育てる教育の推進

2 本年度の学校経営の重点

- 1 令和の日本型学校教育の推進～「個別最適な学び」と「協働的な学び」
- 2 豊かな心の育成と健やかな体の育成
- 3 小中一貫した教育の推進
- 4 特別な配慮を必要とする子どもへの教育の推進
- 5 教職員の働き方改革～負担軽減などを図りながら教育効果を高める工夫
- 6 信頼に基づいた学校・家庭・地域社会との連携

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況 ()は昨年	改善の方向	自己評価 の適切さ	改善策の 適切さ
学校運営	1 「お便り」「ホームページ」での学校の様子・情報を伝えている。	5 88.3% (78.6%)	◇ペーパーレス化が進む中、メールやホームページでの情報発信は必要かつ重要なことである。今年度は、可能な限り生徒の活動を中心にホームページに投稿することを目標とした。今後も継続して迅速かつ多くの情報発信をすべく取り組む。学校評価アンケートは、保護者86%・生徒88%の評価も得られたことから評価5とした。	A	A
	2 学校・教職員は協力して行事や指導にあたっている。	4 88.6% (92.5%)	◇5月から制限が緩和され、生徒の活動の幅を広げるように務めてきたが、コロナ禍以前の学校活動の経験者が少なく苦慮した点は多くあった。「青翔祭」「体育大会」を工夫して実施し、「総合的な学習の時間」では職業体験(2年生)・上級学校訪問(3年生)を実施できたことは大きな成果であった。今後も指導体制の工夫や安全を確保しながら最大の効果を上げることができるように取り組む。学校評価アンケートでは、保護者90%、生徒95%であった。	A	A
	3 学校は、環境美化・整備に取り組んでいる。	4 82.3% (91.5%)	◇校舎は43年目を迎え、老朽化による破損・修理が必要な箇所は少しずつ増えてきている。校舎内は、日頃から学校職員による清掃や修理、業者委託によるトイレ清掃により清潔で綺麗な状態が保たれている。また、生徒による清掃活動・清掃強化日・大掃除を行なっている。学校を大切に使う指導も含めて今後も環境美化・整備に努める。保護者80%、生徒81%のアンケート結果である。	A	A
	16 学校は、学校改善に向けて取り組んでいる。	5 91.0% (92.9%)	◇コロナ禍を経て、教育活動が生徒にとって充実したものになるには何ができるのか検討・工夫・改善してきた。これまでは「PDCAサイクル」が主流であったが、「AARサイクル」を取り入れながら、より生徒主体の教育活動を目指す。学習評価についても来年度から2期制(前後期制)とし、より日常の学習を充実させる方向とした。アンケート結果は、生徒91%であった。	A	A
学校関係者評価委員による意見	保護者には少々分かりづらい内容の質問がありました。今後はより一層、学校で何が起きているのかが分かるようにいろいろな形で情報発信をしてほしい。また、「AARサイクル」を取り入れての活動にも力を入れていただきたい。自己評価及び改善策の評価について適正と認めます。				

学習指導	9 授業の「ねらい」「ポイント」を生徒に伝えている。	5 89.6% (87.6%)	◆教職員では100%となり、授業の「ねらい」「ポイント」を伝えることによる学習効果は高められていると思われる。しかし、保護者の回答(82%)・生徒の回答(87%)と、少し差異があることは今後我々が努力を要するところである。授業の始めに学習の「ねらい」を示し、学習後の「振り返り」を適切に評価することで「学びを調整する力」を向上させ、「指導と評価の一体化」を推進する。	A	A
	10 道徳性を高める授業を行なっている。	4 75.5% (86.6%)	◇来年度から道徳科の授業の持ち方を本来的な形にすることとした。4つの視点、22の項目を原則的には学級担任が、年数回は学年の教員も授業を行うことで、子どもの変化の見取りをしっかりと行い学習評価をするという主旨である。年間計画・授業計画をもとに授業指導案・ワークシートなどを交流し、道徳科の授業が楽しいと感じられる授業づくりを目指す。アンケートの結果は、保護者79%であった。	A	A
	12 TT授業は、学習指導の成果が上がっている・役に立っている。	3 68.3% (89.1%)	◇学校評価アンケートでは、三者の数値に差異が見られた項目である。生徒の回答は76%だったが、大人の評価はいずれも6割台であった。これは、我々教員は反省・改善すべき点であり、子どもたちの学習活動にもっと影響を与えるものでなければならぬと感じる。TT(チームティーチング)授業の目的を今一度考え、有効な時間とするべく検討・改善する。	A	A
	14 総合的な学習の時間は、将来の役に立つ内容を考慮している。	4 79.0% (87.8%)	◇「総合的な学習の時間」の学習内容のひとつである「キャリア学習」に力を入れて取り組んだ。コロナ禍で実施できなかった「職場体験」を2年生で、「上級学校訪問」を3年生で、「職業調べ」を1年生でそれぞれ探究学習を中心に行った。今後も各学年の「キャリア学習」として定着させるべく反省を次年度へと生かしていく。また、「キャリア学習」以外の内容の充実も図る。「旅行的行事」「地域学習・ボランティア」「西岡独自の活動」など。	A	A
学校関係者評価委員による意見	自己評価「3」は少々厳しいのでは・・・とも感じましたが、今年度は全体的に数値が下がっているということもあり、今後の教職員の取組・改善に期待します。自己評価及び改善策の評価について適正と認めます。				

生徒指導	4 「あいさつ」を進んでする生徒の育成を行なっている。	4 77.6% (77.8%)	◇今年度のアンケートにおいても三者の評価の差が大きい項目となっており、改善を必要とする課題である。より良い人間関係の上に成り立つ言語活動という認識で、生徒と教職員が一体となっていく「あいさつアクション」を今年度も実施した。本来は、お互い自然に挨拶を交わせる関係を築いていきたいと考えてるので、まずは教職員の意識改革が最優先である。	A	A
	5 生徒は、学校の決まり・一般的なルールやマナーを守っている。	5 87.6% (95.8%)	◇校内において、学校の決まりから大きく逸脱する生徒はほとんどいない。一般的なルールやマナーについては、外に出る機会がなかったコロナ禍の3年間では、なかなか学ぶことがなかったと感じられる状況である。今後は、折に触れて学ぶ機会を増やし、丁寧な指導を行う。	A	A
	7 学校は、いじめ・暴力問題に迅速に対応している。	5 89.6% (90.7%)	◇アンケートでは、保護者・生徒と教職員間で少し差が見られた。教師の日常的な生徒活動の観察や情報共有、相談活動、保護者・地域との連携により、素早く正確な情報をキャッチすることが必要かつ重要である。過去に「記録シート」の取組をきっかけとして状況の改善に向かった例もあるので、札幌市全体で行われる調査だけではなく、本校独自の生活調査を継続し、生	A	A
	8 学校は、困ったこと・聞きたいことにすぐに対応している。	5 88.3% (90.9%)	◇アンケートでは保護者82%、生徒87%という結果で、三者とも100%としたい項目である。より一層の生徒・保護者との良好な関係を築き、信頼の上に成り立つ相談活動等に努める。今後は教育相談と期末懇談の日程を確保し、実のある相談活動を行う。「記録シート」の活用は来年度からフォーサイト手帳に変わるが、担う役割は「記録シート」以上の効果を期待する。	A	A
	15 生徒は、時間を意識して行動している。	4 78.6% (81.4%)	◇生徒87%の結果から、概ねできていると判断できる。「フォーサイト手帳」への指導・活用とともに「3分前着席」「登校5分前着席」を生徒自ら啓蒙できるように働きかける。登下校に関しては、家庭と学校との協力が必要である。	A	A
学校関係者評価委員による意見	多少の数値の低下はみられますが、学校と生徒・保護者との信頼関係は構築されており、まずまずの評価が得られています。「いじめ」「SNSによるトラブル」等に、今後も臨機応変に対応してほしいところです。自己評価及び改善策の評価について適正と認めます。				

特別活動等	6 生徒は、学校行事に積極的に参加している。	5 85.3% (83.6%)	◆生徒・保護者ともに87%と高い評価を得られた。制限の緩和による各行事の内容を広げられたことが、生徒の活動をより活発にさせたと考える。その反面、バス代の高騰により断念・変更をせざるを得ない行事もあり、今後の行事計画・検討はより困難となるが、生徒の充実した活動を保証・確保する。	A	A
	13 「予定」「計画」を立てて行動・活動できる指導をしている。	3 64.6% (64.3%)	◇三者の回答からは何個もあり、解決すべき課題である。現行の「記録シート」の取組は、予定・計画をする場所がない事から、かねてより検討していた「フォーサイト手帳」のトライアルを1・2年生において、定期テスト前に4週間ほど行ってみた。その結果、積極的に手帳に予定を書き入れたり学習の計画を立てたりする生徒の姿が見られるようになった。手帳の会社から手帳の在庫を譲り受け、半年弱の期間フォーサイト手帳の取組を1・2年生で始めることができた。来年度以降は、全学年で手帳を購入し、先々を見通して活動できるように指導を行っていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	「予定」「計画」そして「振り返り」ができる「フォーサイト手帳」への取組にも力を注ぎ、学校全体がより良い方へ動いていくことに今後も期待しています。コロナ禍でできなかったことへ目を向けながら、活動をしていってほしいです。自己評価及び改善策の評価について適正と認めます。				

※達成状況の評価は、学校評価アンケートで生徒・保護者・教職員の肯定評価（『①そう思う』+『②どちらかというと思う』のパーセンテージ）を総合し、5段階で評価した。
 ※5段階評価は、85%以上を「5」、70%以上を「4」、50%以上を「3」、25%以上を「2」、25%未満を「1」とした。
 ※学校関係者評価の評価は、「自己評価の適切さ」「改善策の適切さ」とともに良い方から「A、B、C」の3段階で評価した。